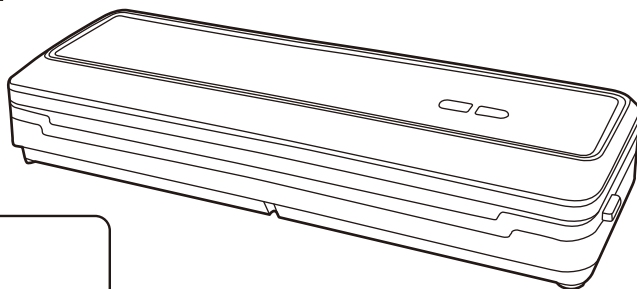


- 業務用としてご使用にならないでください。
- 他の用途でご使用にならないでください。
思わぬ事故の原因になります。

フードパック YVD-101



も く じ

安全上のご注意	1～2
各部の名称	3
はじめに	4
知っておいていただきたいこと	5～6
使いかた	7～14
フィルムの片側をシールする	7～8
脱気密封する	9～10
脱気を途中で止めて密封する	11～12
脱気しないで密封する	13～14
フィルムの再利用について	14
お手入れと保管	15～16
消耗品について	16
仕様	16
故障かな?と思ったら	17～18
アフターサービスについて	18
保証書	裏表紙



3とおりの 密封方法で保存が可能!!

1.脱気して密封・・・9ページへ

2.脱気の途中で密封・・・11ページへ

3.脱気しないで密封・・・13ページへ

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社フードパックをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



①記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警告



禁止

交流100V以外での使用、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

●延長コードやタコ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えると発熱・火災の原因になります。



分解禁止

分解、修理、改造をしない

●やけど・感電・火災の原因になります。
※修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。



指示に従う

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

●発煙・感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

●やけど・感電・漏電・火災の原因になります。



指示に従う

定期的に電源プラグのほこりをふき取る

●電源プラグにほこりがたまり湿気などで絶縁不良となり、ショート・火災の原因になります。

◎電源プラグのほこりは、乾いたふきんでふき取る。



プラグを抜く

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●不意に動作してやけどをしたり、感電の原因になります。



指示に従う

異臭、異常、破損、故障があるときは直ちに使用を中止する

●やけど・感電・火災の原因になります。
※異常・故障例

18ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか?」を参照し、異常がある場合は、直ちに使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。
◎結束バンドは必ずはずす。



禁止

電源コードの上に重いものや本体をのせたり、挟み込まない

●電源コードが破損し、ショート・感電・火災の原因になります。

警告



すき間や開口部にピンや針金などの異物を入れない

禁止

●故障・感電の原因になります。



接触禁止

使用直後は、本体の熱線やフィルムのシール部に触れない

●高温のため、やけどの原因になります。
◎特にお子さまには触らせないように注意する。



禁止

**お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない
乳幼児の手の届く場所で使用したり保管しない**

●けが・やけどの原因になります。



禁止

引火性のものや可燃性ガスがある場所で使用しない

●爆発・火災の原因になります。



指示に従う

お手入れは、熱線が十分冷めてからおこなう

●やけどの原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水に入れたり、水をかけたり丸洗いをしない

●故障・ショート・感電の原因になります。



指示に従う

包装用ポリ袋は、お子さまの手の届かない場所に保管する

●誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息する原因になります。

注意



禁止

電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない

●ショート・感電・発火の原因になります。
◎必ず電源プラグを持って引き抜く。



禁止

**業務用には使用しない
(本製品は一般家庭用)**

●本製品に無理な負担がかかり、破損・故障の原因になります。



指示に従う

安定した水平な場所で使用する

●落下や転倒して、破損・故障・けがの原因になります。



禁止

脱気密封または密封した保存物をそのままオープンで使用しない

●フィルムは、火の近くに置かない
●フィルムが発火する原因になります。



指示に従う

持ち運ぶときは、本体をしっかりと持っておこなう

●破損・故障・けがの原因になります。



禁止

スポンジを水洗いしたり、乱暴に扱わない

●スポンジが変形したり、損傷すると脱気やシールができなくなる原因になります。



禁止

掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

●変色・変質・破損の原因になります。



禁止

電源コードを持って本体を引っ張らない

●設置場所が傷ついたり、ショート・感電・発火の原因になります。



禁止

次のような場所で使用しない

●変質・変形・発火の原因になります。
●火気(コンロやストーブ)など熱源の近くや直射日光のあたる所。
●高温(40℃以上)になる所。
●厨房や工場などの油や油煙が発生する所。
●ほこりや金属粉の多い所。



水ぬれ禁止

水しぶきや蒸気が直接本体にかかる場所、湿気の多い場所で使用しない

●故障・ショート・感電の原因になります。



禁止

使用中に持ち運ばない

●脱気密封ができなかったり、故障の原因になります。



禁止

本体の上ののったり、重いものをのせたり、落としたり、強い衝撃を与えない

●破損・故障・けがの原因になります。



禁止

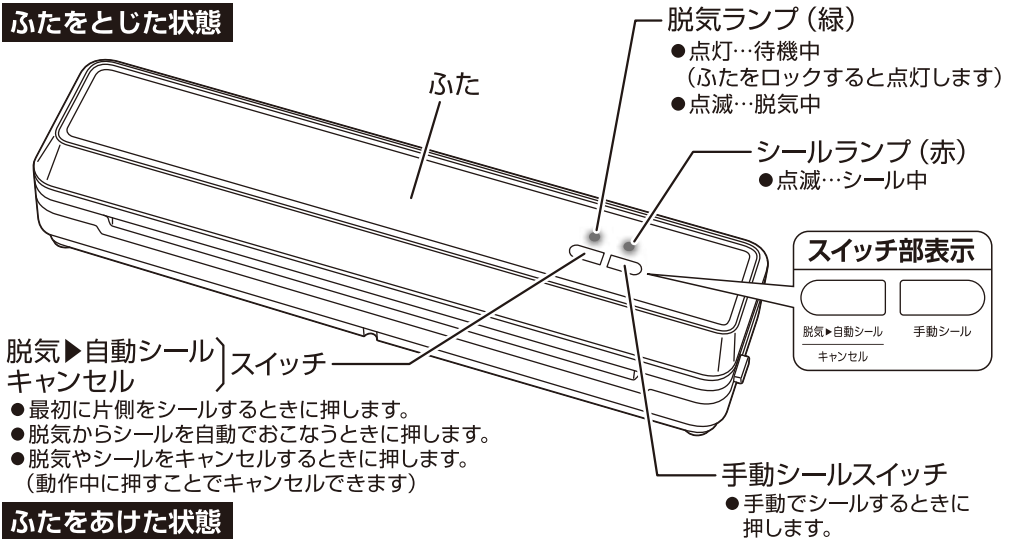
お手入れには、シンナー、ベンジン、みがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは使用しない

●変色・変質・破損の原因になります。
◎お手入れは15～16ページの「お手入れと保管」を参照する。

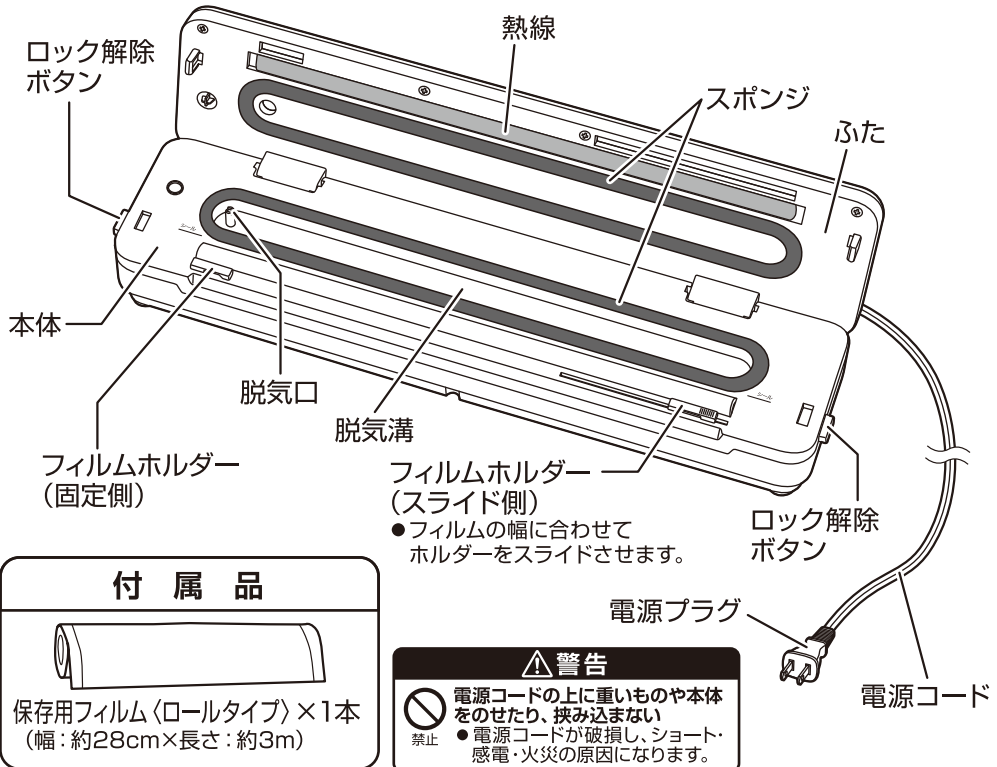
各部の名称

本製品は、電源プラグをコンセントに差し込んで、ふたをロックすると待機状態となります。

ふたをとじた状態



ふたをあけた状態



はじめに

取扱説明書内で説明している用語で「シール」とは「溶着」という意味です。また、「脱気密封」とは「空気を抜いて密封」することを意味し、「密封」とは「空気を抜かないで密封」することを意味しています。

フードパックの用途

フードパックは脱気密封（密封）することによって、食品や生活用品などを上手に保存するものです。

■ 食品の保存に（食品以外の保存にも使えます）

- 食品を冷蔵庫や冷凍庫で上手に保存できます。
- 食品のにおい移りを防ぎます。
- おもち、粉末類、乾物などを湿気や虫などから守ります。
- フィルムをお好みのサイズにカットして使用できるので、フィルムの無駄づかいを防ぎます。
- 食品以外のものも脱気密封（密封）することにより、湿気や汚れ、虫などから守ることもできます。

ご使用上の注意

- ※食品を保存するときは、脱気密封（密封）して冷蔵庫や冷凍庫に入れてください。
- ※この製品には殺菌作用はありません。食品を脱気密封（密封）したからといって「いつまでも大丈夫」と過信しないで、できる限り早めにお召し上がりください。

■ 調理時間の短縮に

- 下ごしらえをした食品を脱気密封（密封）しておけば、すばやく調理ができます。
- 冷蔵庫や冷凍庫から脱気密封（密封）した食品を取り出し、そのまま茹でたり、電子レンジでの調理ができます。

■ 持ち運びに便利

- 脱気密封（密封）することで、アウトドアなどのレジャーのとき、持ち運びに便利です。

定格時間について（定格時間15分）

定格時間を守らないと、熱線の温度が上がりすぎてフィルムが溶けたり、故障の原因になります。

- ※シールや脱気密封は、1回ごとに30秒以上の間隔をあけてください。
間隔をあけずにおこなうと、脱気ランプ（緑）とシールランプ（赤）が同時に点滅して、一時的に使用できなくなります。
このようなときは、ふたをあけて2分以上休止してからご使用ください。
- ※本製品の定格時間は15分です。
連続して使用するときは、1回ごとに30秒以上の間隔をあげながら、15分以内でご使用ください。
さらにご使用になるときは、15分ごとに60分以上の間隔をあけてください。

知っておいていただきたいこと

⚠ 水分に注意

フードパックは、非常に吸引力が強いので、わずかな水分も吸い込みます。

脱気溝に**水分**がたまってしまうと、脱気口から本体内部に水分が入り**故障の原因**になります。

水分を含む食品や汁ものはお避けになるか、**冷凍してから脱気密封してください。**

⚠ 汚れに注意

使用後は、必ずお手入れをおこないます。

脱気溝、脱気口、熱線に**汚れ**が付着したまま使用すると、**故障の原因**になります。

使用後は、**必ずお手入れをおこないます。**

特に脱気溝、脱気口、熱線の周辺は、**水分や汚れをきれいにふき取ってください。**

次のようなものは脱気密封しない

水分の多いもの	水分の多い野菜や果物 漬物 など	●フィルムのシール部に水分が付着してシール不良の原因になります。 ●水分が吸引されて脱気口から本体内部に入り、故障の原因になります。
とがったもの 鋭利なもの	カニ、エビ など	●フィルムに穴があいて空気が入る原因になります。
かた崩れしたり 割れやすいもの	キノコ類、ご飯、パン ポテトチップスなどの スナック菓子 など	●脱気中にかた崩れしたり、割れる原因になります。

- 上記のものは、脱気密封できませんが脱気をしないで密封することはできます。
ただし、カニやエビなどのとがったものや鋭利なものは、フィルムに穴があくことがあります。

■肉、魚の保存について

- 肉、魚は冷凍してから脱気密封します。
- 魚は内臓を取り除きます。
- 冷凍しないで脱気密封する場合は、ペーパータオルなどで包み水分を吸収させてから脱気密封します。
- 調理前のハンバーグやギョウザなどは、ラップに包んでから脱気密封します。

知っておいていただきたいこと

■野菜、果物の保存について

- ブロッコリー、とうもろこし、グリーンアスパラなどは、新鮮なうちに一度茹で冷めたあと、ペーパータオルなどで水分を吸収させてから脱気密封します。
- リンゴなどは、皮をむいてから脱気密封します。

ご使用上の注意

※野菜や果物は呼吸をしており、ガスが発生します。

調理をしていない状態で脱気密封すると、時間の経過とともに袋がふくらんできますので調理をしてから脱気密封し、冷蔵庫や冷凍庫で保存してください。

■液状の食品の保存について

- カレー、シチューなどの調理物や液状の食品は、そのままでは吸い込んでしまうため脱気密封できません。
- 脱気密封するときは、必ず冷凍するか脱気しないで密封します。

■その他の食品の保存について

- 小麦粉やコーヒーなどの粉末状のものは、もとのパッケージごと脱気密封します。

■食品以外のものを脱気密封（密封）

- 湿気から守っておきたい常備品や衣類などを脱気密封（密封）しておくこともできます。

■脱気密封（密封）した食品の解凍や調理について

- 冷蔵庫、常温、電子レンジ、湯煎などで解凍や調理することができます。

※傷みやすい食品は、常温で自然解凍しないでください。

■電子レンジで解凍や調理をする場合

電子レンジを使用する場合は、フィルムの破裂を防ぐため、必ずフィルムの角を切り空気の出入りを自由にしたあと、深皿などに入れた状態でおこないます。

※油分の多い食品はフィルムから取り出し、別の容器に移しかえてから電子レンジで解凍や調理をおこなってください。

フィルムに入れたまま電子レンジにかけるとフィルムが溶けたり、発火することがあります。

お知らせ

- 本製品での脱気密封は、JIS規格における真空「通常の大気圧より低い圧力の気体で満たされた空間内の状態」となります。

※この製品には、殺菌作用はありません。食品を脱気密封（密封）したからといって「いつまでも大丈夫」と過信しないで、できる限り早めにお召し上がりください。

※いろいろな食品を混ぜて脱気密封（密封）しないでください。脱気密封（密封）するときは、必ず同一の食品にしてください。

使いかた

Step1 ご使用前の準備

1 電源コードの結束バンドを必ずはずし、電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。

⚠ 警告



交流100V以外での使用、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

- 延長コードやタコ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えると、発熱・火災の原因になります。

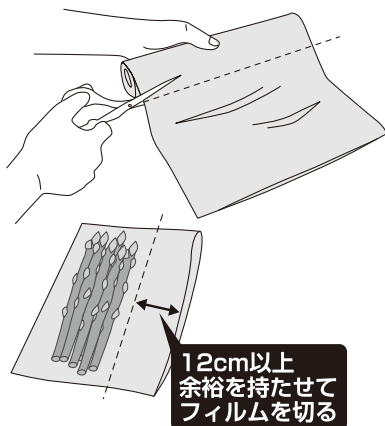
2 フィルムを必要な長さに切る

- 保存するものの大きさより、12cm以上余裕を持たせた長さに切ります。(右図参照)

※再利用のフィルムをご使用になる場合は
14ページの「フィルムの再利用について」
をご参照ください。

ご使用上の注意

- ※必ず専用のフィルムをご使用ください。
一般のポリエチレン袋などは、ご使用できません。
- ※フィルムを切るときは、真つすぐに切ってください。
曲がっていたり斜めに切ると、シール不良の原因
になります。
- ※保存するものに厚みがある場合は、十分な余裕を
持たせてフィルムを切ってください。
余裕が無いとシール部分にシワが入りやすくなります。



Step2 フィルムの片側をシールする

1 フィルムの位置を合わせる

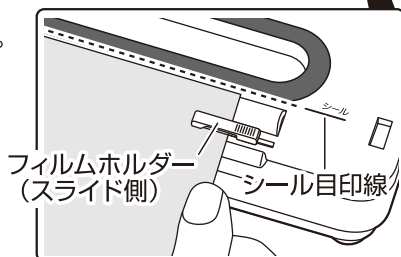
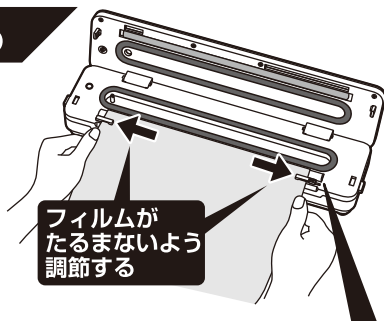
- ふたをあげ、フィルムの両サイドをフィルムホルダー(固定側)と(スライド側)にそれぞれ差し込みます。

※フィルム内側の模様がある面を上側にして
フィルムホルダーに差し込んでください。

- フィルムホルダー(スライド側)をスライドさせ、フィルムの幅に合わせます。
- フィルムの端をシール目印線に合わせます。
(右図参照)

ご使用上の注意

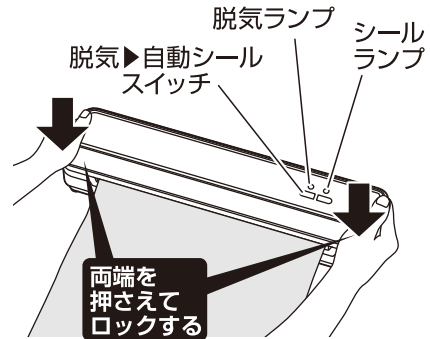
- ※フィルムがたるまないように調節してください。
- ※フィルムのシール部にシワ、水分、ゴミがあるとシール不良の原因になりますので、シールする前にシワや付着物が無いか、確認してください。



使いかた

2 ふたとじ、フィルムをシールする

- ふたとじ、ふたの両端をカチッと音がするまで押さえ、ふたをロックします。
※必ずふたの両端をロックしてください。
- 脱気ランプ（緑）が点灯します。
- 「脱気▶自動シールスイッチ」を押します。脱気ランプ（緑）とシールランプ（赤）が順に点滅し、自動的にシールされます。
- シールを途中でキャンセルしたいときは動作中に「脱気▶自動シールスイッチ」を押すとキャンセルできます。



■各ランプの状態について

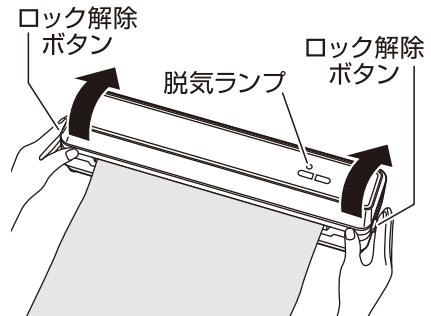
脱気ランプ (緑)	脱気ランプ (緑)	シールランプ (赤)
点灯	点滅	点滅
待機中	脱気中	シール中

■こんなときは

脱気ランプ(緑) シールランプ(赤)
同時点滅
一時的に使用停止中 ※4ページの「定格時間について」をご参照ください。

3 フィルムを取りはずす

- 脱気ランプ（緑）が点灯になったらシール完了です。
- 本体両側のロック解除ボタンを押し、ふたのロックを解除します。
- ふたの両端を持ってふたをあけ、フィルムを取りはずします。
※必ずふたの両端を持ってあげてください。
中央を持ってあげると熱線に手が触れてやけどの原因になります。



⚠ 警告



接触禁止

使用直後は、本体の熱線やフィルムのシール部に触れない

- 高温のため、やけどの原因になります。
- ◎特にお子さまには触らせないように注意する。

ご使用上の注意

- ※しっかりとシールされているか確認してください。
- ※連続してシールする場合は、1回ごとに必ず30秒以上の間隔をあけてください。
詳しくは4ページの「定格時間について」をご参照ください。

- 脱気密封する場合は……………9ページのStep3-1へ
- 脱気を途中で止めて密封する場合は……………11ページのStep3-2へ
- 脱気しないで密封する場合は……………13ページのStep3-3へ

使 い か た

Step3-1 脱気密封する

■脱気密封できるもの

かたちがしっかりした水分の少ない野菜、肉、魚、冷凍した液状食品、衣類など

※肉や魚は、ペーパータオルなどで水分を吸収させるか、冷凍してから脱気密封してください。

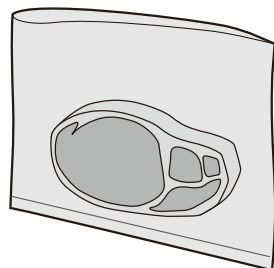
※液状の食品や汁ものは、必ず冷凍してから脱気密封してください。

1 保存するものを入れる

- 保存するものを入れる前に、フィルムの一側がしっかりシールされているか確認します。

— ご使用上の注意 —

- ※ 保存するものは、一度に大量に入れないでください。
- ※ 水分を含んだ食品を脱気密封する場合は、ペーパータオルなどで水分を吸収させるか、冷凍してから脱気密封してください。
- ※ 傷んでいる食品は、保存しないでください。



2 フィルムの位置を合わせる

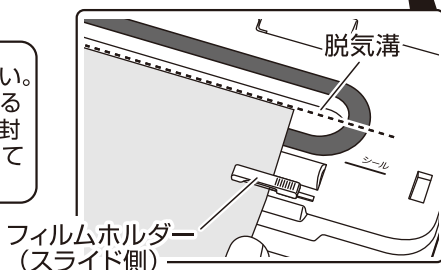
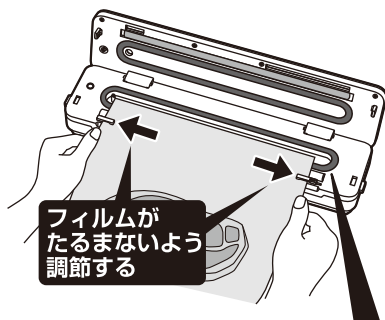
- ふたをあけ、シールしていない側の両サイドをフィルムホルダー（固定側）と（スライド側）にそれぞれ差し込みます。

※ フィルム内側の模様がある面を上側にしてフィルムホルダーに差し込んでください。

- フィルムホルダー（スライド側）をスライドさせ、フィルムの幅に合わせます。
- フィルムの端を脱気溝の中央部に合わせます。（右図参照）

— ご使用上の注意 —

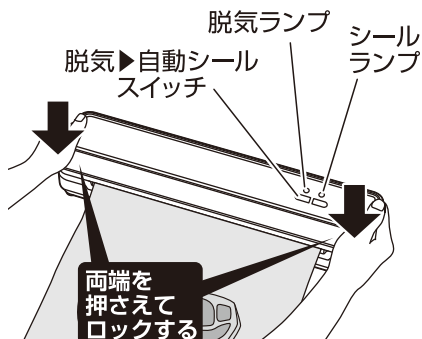
- ※ フィルムがたるまないように調節してください。
- ※ フィルムのシール部にシワ、水分、ゴミがあるとシール不良の原因になりますので、脱気密封する前にシワや付着物が無いか、確認してください。



使いかた

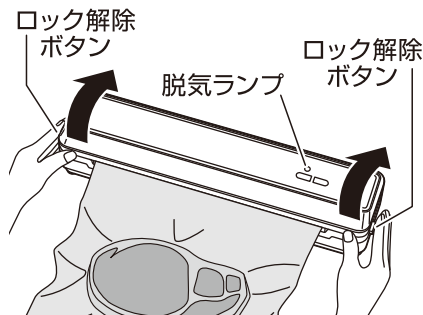
3 ふたをとじ、脱気密封する

- ふたをとじ、ふたの両端をカチッと音ができるまで押さえ、ふたをロックします。
※必ずふたの両端をロックしてください。
- 脱気ランプ（緑）が点灯します。
- 「脱気▶自動シールスイッチ」を押します。
脱気ランプ（緑）とシールランプ（赤）が順に点滅し、自動的に脱気密封されます。
※各ランプの状態については、8ページの「各ランプの状態について」をご参照ください。
- 脱気密封を途中でキャンセルしたいときは動作中に「脱気▶自動シールスイッチ」を押すとキャンセルできます。



4 フィルムを取りはずす

- 脱気ランプ（緑）が点灯になったら脱気密封完了です。
- 本体両側のロック解除ボタンを押し、ふたのロックを解除します。
- ふたの両端を持ってふたをあけ、フィルムを取りはずします。
※必ずふたの両端を持ってあげてください。
中央を持ってあげると熱線に手が触れてやけどの原因になります。



⚠ 警告



接触禁止

使用直後は、本体の熱線やフィルムのシール部に触れない

- 高温のため、やけどの原因になります。
- ◎特にお子さまには触らせないように注意する。

— ご使用上の注意 —

- ※しっかりとシールされているか確認してください。
- ※連続して脱気密封する場合は、1回ごとに必ず30秒以上の間隔をあけてください。
詳しくは4ページの「定格時間について」をご参照ください。

使 い か た

Step3-2 脱気を途中で止めて密封する

■脱気を途中で止めて（空気を抜ききる前に）密封できるもの
脱気密封と同等のものが密封できますが、脱気中に「**手動シールスイッチ**」を押すことで、空気を抜ききる前に密封することができます。

※肉や魚は、ペーパータオルなどで水分を吸収させるか、冷凍してから密封してください。

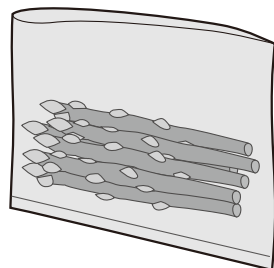
※液状の食品や汁ものは、必ず冷凍してから密封してください。

1 保存するものを入れる

- 保存するものを入れる前に、フィルムの片側がしっかりシールされているか確認します。

ご使用上の注意

- ※保存するものは、一度に大量に入れないでください。
- ※水分を含んだ食品は、ペーパータオルなどで水分を吸収させるか、冷凍してから密封してください。
- ※傷んでいる食品は、保存しないでください。



2 フィルムの位置を合わせる

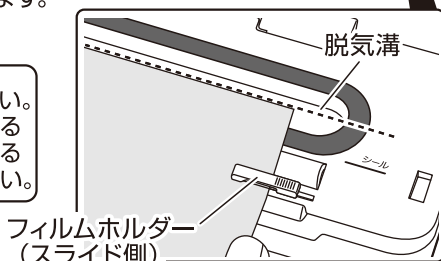
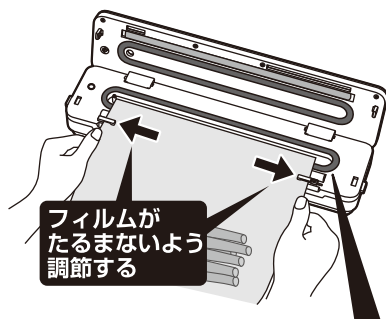
- ふたをあけ、シールしていない側の両サイドをフィルムホルダー（固定側）と（スライド側）にそれぞれ差し込みます。

※フィルム内側の模様がある面を上側にしてフィルムホルダーに差し込んでください。

- フィルムホルダー（スライド側）をスライドさせ、フィルムの幅に合わせます。
- フィルムの端を脱気溝の中央部に合わせます。（右図参照）

ご使用上の注意

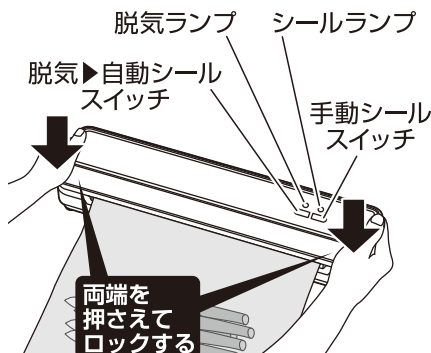
- ※フィルムがたるまないように調節してください。
- ※フィルムのシール部にシワ、水分、ゴミがあるとシール不良の原因になりますので、密封する前にシワや付着物が無いか、確認してください。



使いかた

3 ふたをとじ、脱気を開始する

- ふたをとじ、ふたの両端をカチッと音がるまで押さえ、ふたをロックします。
※必ずふたの両端をロックしてください。
 - 脱気ランプ（緑）が点灯します。
 - 「脱気▶自動シールスイッチ」を押します。脱気ランプ（緑）が点滅し、脱気が開始されます。
 - 脱気中に「手動シールスイッチ」を押します。シールランプ（赤）が点滅し、シールが開始され密封されます。
- 「脱気▶自動シールスイッチ」を押してから約2秒経過すると「手動シールスイッチ」の操作が可能になります。
- ※各ランプの状態については、8ページの「各ランプの状態について」をご参照ください。
- 密封を途中でキャンセルしたいときは動作中に「脱気▶自動シールスイッチ」を押すとキャンセルできます。

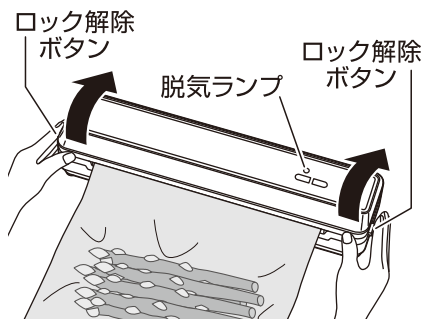


ご使用上の注意

- ※手動シールが完了するまでは、脱気が継続されるため空気が抜けすぎないようにフィルムを長めに切ってください。
- ※かた崩れしたり、割れやすいものは、脱気をしないで密封してください。（13ページのStep3-3をご参照ください）

4 フィルムを取りはずす

- 脱気ランプ（緑）が点灯になったら密封完了です。
 - 本体両側のロック解除ボタンを押し、ふたのロックを解除します。
 - ふたの両端を持ってふたをあけ、フィルムを取りはずします。
- ※必ずふたの両端を持ってあげてください。
中央を持ってあげると熱線に手が触れてやけどの原因になります。



⚠ 警告



使用直後は、本体の熱線やフィルムのシール部に触れない

- 高温のため、やけどの原因になります。
- ◎特にお子さまには触らせないように注意する。

ご使用上の注意

- ※しっかりとシールされているか確認してください。
 - ※連続して密封する場合は、1回ごとに必ず30秒以上の間隔をあげてください。
- 詳しくは4ページの「定格時間について」をご参照ください。

使いかた

Step3-3 脱気しないで密封する

■脱気しないで密封できるもの

水分（汁気）の多い食品、タレ漬けの肉や魚、かた崩れしやすいキノコ類、ポテトチップスなどのスナック菓子など

※液状の食品や汁ものは、フィルム（袋）の半分以上の容量にしてください。

また脱気密封は、絶対にしないでください。

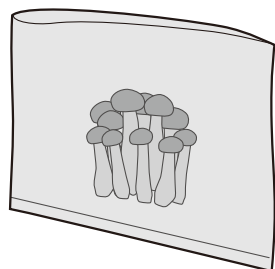
脱気密封をする場合は、必ず冷凍してください。

1 保存するものを入れる

- 保存するものを入れる前に、フィルムの片側がしっかりシールされているか確認します。

ご使用上の注意

- ※ 保存するものは、一度に大量に入れないでください。
- ※ 液状の食品や汁ものを密封する場合は、フィルム（袋）の半分以上の容量にしてください。
- ※ 傷んでいる食品は、保存しないでください。



2 フィルムの位置を合わせる

- ふたをあけ、シールしていない側の両サイドをフィルムホルダー（固定側）と（スライド側）にそれぞれ差し込みます。

※フィルム内側の模様がある面を上側にしてフィルムホルダーに差し込んでください。

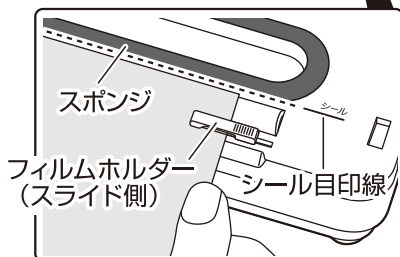
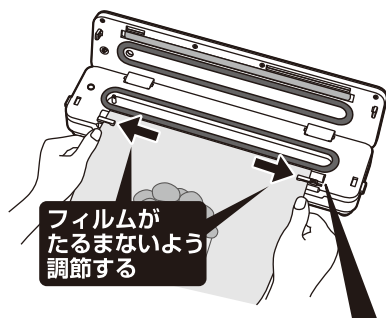
- フィルムホルダー（スライド側）をスライドさせ、フィルムの幅に合わせます。
- フィルムの端をシール目印線に合わせます。（右図参照）

ご使用上の注意

※密封するときは、フィルムの端をシール目印線に合わせ、絶対にスポンジをこえないでください。水分が吸引されて脱気口から本体内部に入り故障の原因になります。

※フィルムがたるまないように調節してください。

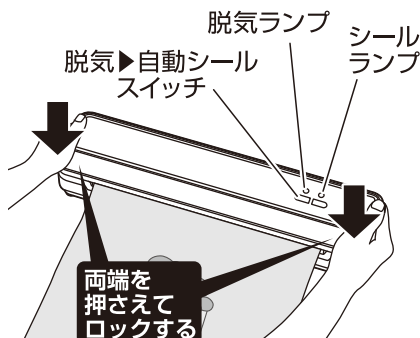
※フィルムのシール部にシワ、水分、ゴミがあるとシール不良の原因になりますので、密封する前にシワや付着物が無いか、確認してください。



使いかた

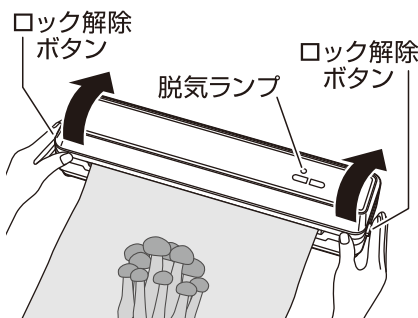
3 ふたとじ、密封する

- ふたとじ、ふたの両端をカチッと音がするまで押さえ、ふたをロックします。
※必ずふたの両端をロックしてください。
- 脱気ランプ（緑）が点灯します。
- 「脱気▶自動シールスイッチ」を押します。
脱気ランプ（緑）とシールランプ（赤）が順に点滅し、自動的に密封されます。
※各ランプの状態については、8ページの「各ランプの状態について」をご参照ください。
- 密封を途中でキャンセルしたいときは動作中に「脱気▶自動シールスイッチ」を押すとキャンセルできます。



4 フィルムを取りはずす

- 脱気ランプ（緑）が点灯になったら密封完了です。
- 本体両側のロック解除ボタンを押し、ふたのロックを解除します。
- ふたの両端を持ってふたをあけ、フィルムを取りはずします。
※必ずふたの両端を持ってあげてください。
中央を持ってあげると熱線に手が触れてやけどの原因になります。



⚠ 警告



接触禁止

使用直後は、本体の熱線やフィルムのシール部に触れない

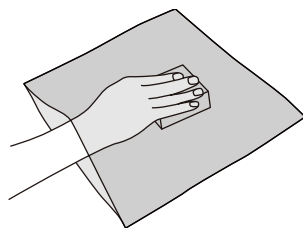
- 高温のため、やけどの原因になります。
- ◎特にお子さまには触らせないように注意する。

ご使用上の注意

- ※しっかりとシールされているか確認してください。
- ※連続して密封する場合は、1回ごとに必ず30秒以上の間隔をあげてください。
詳しくは4ページの「定格時間について」をご参照ください。

フィルムの再利用について

- 食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて、フィルムの内側と外側を水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで水分をふき取ります。
- 十分乾燥させてから再利用します。
- ※肉類や魚介類、生もの、油っこいものに使用したフィルムは衛生上再利用しないでください。



お手入れと保管

お手入れや持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜き、熱線が十分冷めてからおこないます。

フードパックは調理器具のため、いつも清潔な状態で使用します。

※汚れをそのまま放置しておくと取れなくなり、変色・変形・故障の原因になります。

ご使用後は、必ずお手入れをおこなってください。

※お手入れをおこなうときは、けがなどを防止するためゴム手袋などを着用しておこなってください。

警告



お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
ぬれた手で電源プラグを抜き
差ししない
●不意に動作してやけどをしたり
感電の原因になります。



お手入れは、熱線が十分冷めて
からおこなう

●やけどの原因になります。



本体を水に入れたり、水を
かけたり、丸洗いをしない
●故障・ショート・感電の原因
になります。

注意



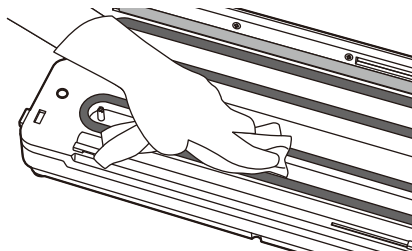
掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけ
ない
●変色・変質・破損の原因になります。



お手入れには、シンナー、ベンジン、みがき粉、たわし
化学ぞうきんなどは使用しない
●変色・変質・破損の原因になります。

■本体 ※丸洗いは絶対しない

- 水に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れを
ふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、水でうすめた食器用中性洗剤
に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってからふき
取ります。
さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤が残らない
ようにきれいにふき取ります。



特に脱気溝、脱気口、熱線の水分や汚れはきれいにしてください

※ご使用後は、必ず柔らかいふきんで水分や汚れをきれいにふき取ってください。

脱気溝、脱気口、熱線に水分や汚れが付着したままご使用になると、故障の原因になります。

※脱気溝に水分がたまっている場合は、本体を傾けて排水しないでください。

本体内部に水分が入り、故障の原因になります。

水分は、ペーパータオルや柔らかいふきんで吸収してから、きれいにふき取ってください。

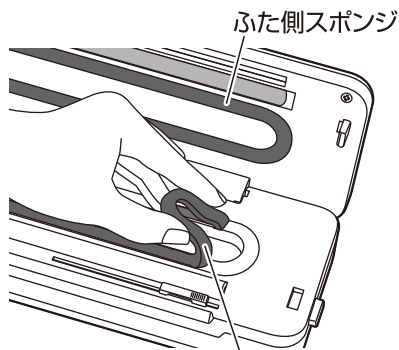
■スポンジ ※丸洗いは絶対しない

- ふたをあけスポンジを取りはずし、柔らかいふきん
で水分や汚れをふき取り、もと通り取り付けます。
- ※本体とふたにあるスポンジは、それぞれ指でつまみ
引き抜いて取りはずしてください。
- ※取りつけるときは、溝に押し込んで取りつけて
ください。

注意



スポンジを水洗いしたり、乱暴に扱わない
●スポンジが変形したり、損傷すると脱気や
シールができなくなる原因になります。



本体側スポンジ

お手入れと保管

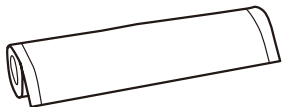
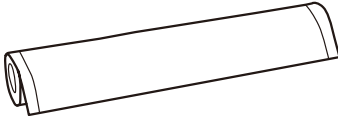
■保 管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れしたあとよく乾燥させ、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
(湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります)

消耗品について

- 保存用フィルムは消耗品です。
※保存用フィルムは、フードパックをお買い上げの販売店にて、下記指定品番の専用フィルムをお買い求めください。

■山善フードパック専用 別売品

保存用フィルム〈ロールタイプ〉小	保存用フィルム〈ロールタイプ〉大
幅：約20cm×長さ：約6m／1本 品番：Y-FDP20 JANコード：4983771572852 	幅：約28cm×長さ：約6m／1本 品番：Y-FDP28 JANコード：4983771572845 

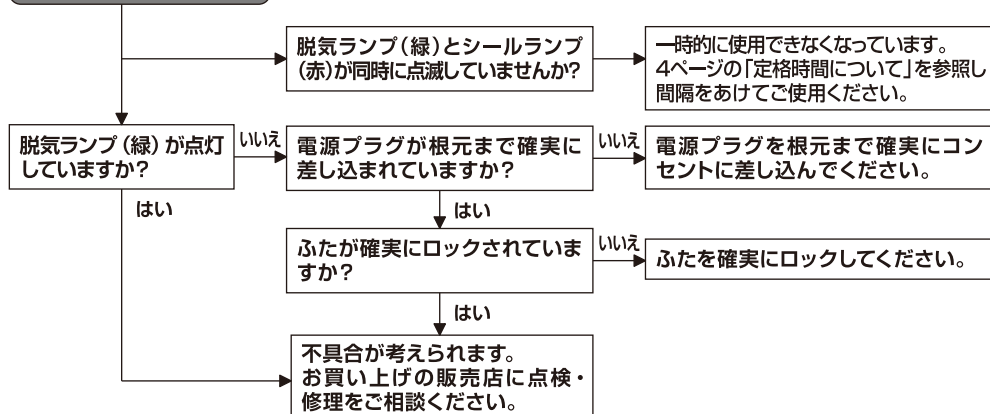
仕 様

電 源	交流100V (50-60Hz共用)
消 費 電 力	83W
製 品 寸 法(約)	幅：410mm×奥行：95mm×高さ：75mm
製 品 質 量(約)	1.3kg
コ ー ド 長(約)	1.2m
脱 気 圧(約)	50kPa
接 着 部 温 度(約)	150℃
定 格 時 間	15分 (15分使用ごとに60分以上休止)
休 止 時 間	30秒以上 (シールや脱気後に必要な休止時間)
シ ー ル 可 能 幅	最大：285mm
使用可能なフィルム	弊社指定のフードパック専用保存用フィルム
安 全 装 置	温度ヒューズ、電流ヒューズ
付 属 品	保存用フィルム〈ロールタイプ〉×1本

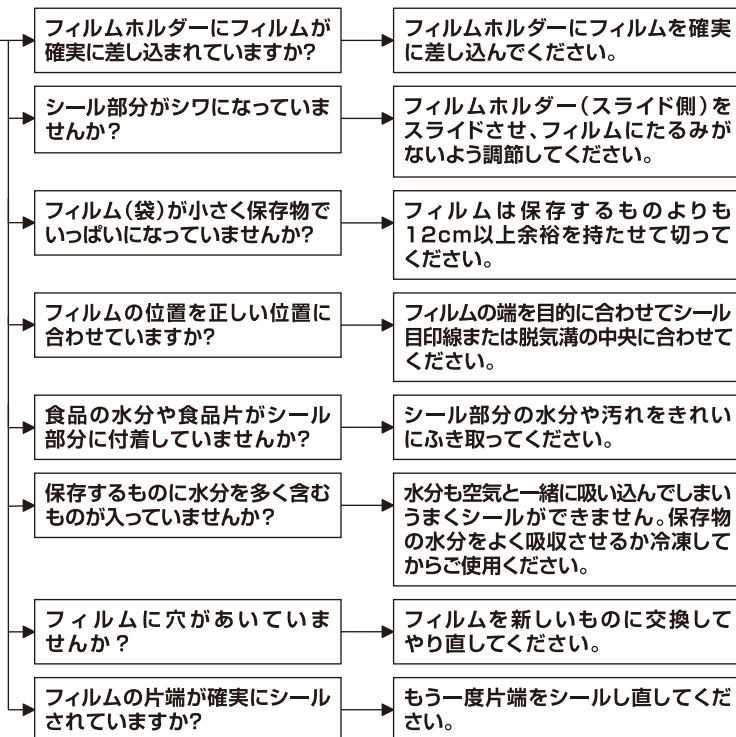
※製品の仕様や外観などは、改善などのため予告なく変更する場合があります。
※この製品に殺菌作用はありません。

故障かな?と思ったら 次の点検をおこなってください。

脱気▶自動シールスイッチ
を押しても動作しない



脱気・シールがうまく
できない



故障かな?と思ったら 次の点検をおこなってください。

フィルムをセットすると溶けてしまう

間隔をあけずにシールや脱気をおこなっていませんか?

4ページの「定格時間について」を参照し間隔をあけておこなってください。

空気を抜いたあとに再び空気が入ってくる

フィルムがうまくシールできていますか?

17ページの「脱気・シールがうまくできない」をご参照ください。

フィルムに穴があいていませんか?

フィルムを新しいものに交換してやり直してください。

食品が発酵作用を起こしているか、自然のガスを発生させていませんか?

食品が発酵する過程でガスを発生させます。調理をしてから脱気密封し冷蔵庫や冷凍庫で保存してください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために
日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか?

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- 電源コード、電源プラグに深い傷や変形がある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- こげくさいにおいがする。
- 器具に触れるとビリビリと電気をを感じる。
- その他の異常や故障がある。

- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

★異常があれば

ご使用中止!!

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

- この製品は保証書がついております。
お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。
保証期間中の修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理(有料)についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- サービスパーツや別売品については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この製品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル ☎0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間：10:00～17:00(土・日・祝日を除く)

- FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入のうえ、ご相談ください。

●FAXでの
ご相談は ☎0120-680-287

●Eメールでのご相談は info_m@yamazen.co.jp

個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社はお客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。

S-190108